

第95号

ピー子だよ!



豊かな明日へ
あなたとともに歩みます

♪夏もち~かづく八十八夜号

社会福祉法人伊丹市社会福祉事業団
松風園・桃寿園
〒664-0015 伊丹市昆陽池1丁目105
電話 072-781-2900
発行責任者 池内 玲子

さわやかな季節がやってまいりました。園庭の木々は、青々としています。当松風園・桃寿園にも新芽のような職員がやってまいりました。(3面をご覧ください)

どうぞ、よろしく願いいたします。

先日、大阪のバリアフリー2014展に行ってきました。最新の福祉機器が、数多く展示され、体験などもできる見本市のような展示会です。一般のお客様の多かったことに驚きました。ご家族介護者や将来のためにご夫婦で見学されているシニアの方など様々なお客様がおられました。電動車いすのブースでは、すべて電動ではなく、「自立支援」を掲げた「アシスト車いす」なるものに試乗しました。電動自転車の車いすバージョンといったところで、坂道などは後ろから優しく押してくれているようで大変よくできておりました。ご利用者の皆様の「困った」や「こんなのがあったらいいな」と思う福祉機器や介護ロボットも実用化に近づいているようです。福祉機器の産業は、超高齢社会を一大市場と見込み、追いつけ追い越せのデッドヒートを繰り広げています。そんな中で、軽量コンパクトなカートを開発したメーカーのブースに立ち寄りしました。「売っていますか?」と伺ったところ、「全然売れませんよ」とのこと。タイヤが小さくてこぼこ道に弱いという難点があったからでした。しかし、折りたたんで、車に乗せられる(相当重いのですが)画期的な歩行カートだと当時は思いましたが、メーカーいわく「『ご高齢になっても家族と一緒に旅行に行く』をコンセプトにしましたが、乗せるのに重く、ご高齢者のお子様も60歳を過ぎた方が多く、よほどのこだわりがなければ、買われませんよ。」とあっさり。こんな正直なメーカーもおられるのだなとほっとしました。試行錯誤の中で、介護事業者も福祉機器同様少しずつ進化していきたいと思えます。

施設長 池内玲子

ありがとうボランティア特集

今回は、利用者さんの整容やお散歩のお手伝い、車いすの調整、修理など幅広く活躍していただいているY・H様にお話をうかがいました。

末満：この度は、取材にご協力いただきありがとうございます。さて、質問ですが、まずは桃寿園に来られることになった経緯を教えてくださいませんか。

Y様：はい、平成22年12月から行っています。今年で4年になりますね。桃寿園に来ている歯科往診の原田先生に誘っていただきました。

末満：そうなんですね。ボランティア活動の前は何をされていたのですか？

Y様：自衛隊で働いていました。定年前に退職後のことを考えた結果、佛教大学の社会学部で勉強しました。

末満：大学とはすごいですね。桃寿園でボランティア活動をしているのは何か理由があるのですか？

Y様：ポケ予防です。(笑) 家にいてもしょうがないし、体を動かしているのが体力作りにもちょうどいいですね。桃寿園の職員さんにも気持ちよく活動ができるようにしてもらっているのが助かっています。よくしてくれますわ。

末満：ありがとうございます。これからも桃寿園・松風園にご協力をお願いします。

Y様：体力が続く限り来たいと考えています。

末満：ありがとうございます。

【敬称略】聞き手：末満 彰



桃寿園デイサービスのクラブ活動紹介

月曜日	いきいき手芸	定員10名	材料費50円
火曜日	リラクゼーションクラブ	定員30名	入浴剤を入れたお風呂
水曜日	カルメン先生の英会話教室	定員10名	講師代100円
木曜日	書道クラブ	定員10名	月2回 隔週実施
木曜日	男クラブ	定員30名	麻雀・将棋・囲碁
金曜日	ヒーリングリズム	定員30名	講師代100円
月～土曜日	体操	定員30名	ビデオ体操
火・木曜日	カラオケくらぶ	定員30名	曲数30,000曲以上
火・木曜日	生花	定員10名	第2火曜日・第4木曜日

私たちと一緒に楽しみを見つけてみませんか？

【編集後記】 ピーチだよりの記事の中でも数珠つなぎが楽しみというお声をお聞きすることがあります。今回数珠つなぎはお休みですが、4月から配属となった職員の紹介をお楽しみください。

編集委員：大庭 久美子